

製品名: RGS14 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17091**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000 |
| 分子量 | 65kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | RGS14 |
| 別名 | RGS14; Regulator of G-protein signaling 14; RGS14 |
| 遺伝子 ID | 10636.0 |
| SwissProt ID | O43566 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト RGS14 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 125-174 |

背景

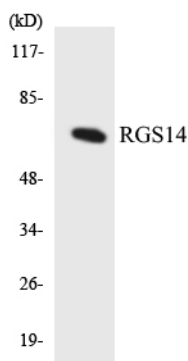
この遺伝子は、G タンパク質シグナル伝達制御因子ファミリーのメンバーをコードします。このタンパク質は、1つの RGS ドメイン、2つの Raf 様 Ras 結合ドメイン (RBD)、および1つの GoLoco ドメインを含みます。このタンパク質は、GoLoco ドメインを介

して特定の活性化 GTP 結合型 G α サブユニットに結合することで、G タンパク質のシグナル伝達活性を減弱させます。GTPase 活性化タンパク質 (GAP) として作用し、GTP から GDP への変換速度を高めます。この加水分解により、G α サブユニットは G β / γ サブユニットヘテロダイマーに結合し、不活性型 G タンパク質ヘテロトリマーを形成し、シグナル伝達を終結させます。この遺伝子には、選択的転写スプライスバリエントが観察されていますが、詳細な解析は行われていません。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能:G タンパク質 α サブユニットの GTPase 活性を増加させることでシグナル伝達を阻害し、それによってそれらを不活性な GDP 結合型にします。類似性:1 つの GoLoco ドメインを含みます。類似性:1 つの RGS ドメインを含みます。類似性:2 つの RBD (Ras 結合) ドメインを含みます。、

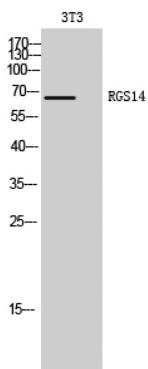
研究分野

セカンドメッセンジャー、ヌクレオチドメッセンジャー、GTP、シグナル伝達、シグナル伝達経路、G タンパク質シグナル伝達、GPCR

画像データ



RGS14 抗体を使用した HUVEC 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。



RGS14 ポリクローナル抗体を使用した 3T3 細胞のウエスタン ブロット分析。